

1st

KITE SOCIETY
CONCERT

KKC SOCIETY / 長野高校合唱班OB / 第1回定期演奏会

日時／'66年4月3日(日)2:00p.m.～

場所／長野市民会館

賛助／長野高校合唱班

後援／信濃毎日新聞社
信 越 放 送

＜ごあいさつ＞

4月の声を聞いても山国の春はまだ私共に暖かい快楽を与えてはくれないようです。しかし自然は躍動し、人間に生氣を与えてくれます。草木はその新芽を今にもはじかんとし、小鳥たちはその喜びの歌を合唱しているようです。長い冬の眠りから目を覚まして迎える春はこんなにも生物に勇気を与え、喜ばせるものなのでしょうか。

私共カイトソサエティの面々もこの春の訪れを胸をわくわくさせて待っておりました。昨年この会が結成されて以来、会員達はこの4月3日を夢み、またそれなりに各人が一枚一枚の歯車となって努力して來たのでした。かって長野高校の現役時代、金鶴祭の音楽祭にこの市民会館の舞台を感激に満ちて踏んだことが今更ながら想い出されます。高校を巣立ち、離れ離れになった我々はもう一度集まり、お互いの練習を重ねて、きょうここに初演奏会を持つに至りました。私共その喜びをかみしめながら、御来場の皆様に楽しんでいただくよう、努力したく思っております。本日の御来場を感謝すると共にカイトソサエティのために今後共いっそうの御支援をお願いいたします。

▶プログラム

I. 多田武彦の作品から

／多田 武彦

組曲「富士山」より 作品第肆

組曲「航海詩集」より 我が窓に

〃 コンパスづくし

組曲「柳河風俗詩」より 梅雨の晴れ間

II. 子供の一年

／西崎嘉太郎

III. オペラより

歌劇「魔弾の射手」より 狩人の合唱

楽劇「タンホイザー」より 巡礼の合唱

歌劇「ファウスト」より 兵士の合唱

／指揮 宮下莊治郎

伴奏 山本 昇

IV. ロシア民謡集

／津川 主一 編曲
福永陽一郎

ヴォルガの舟引唄

十二人の盗賊

トロイカ

コサックの悲歌

緋色のサラファン

コサックの子守唄

／指揮 岡田 成文

V. 男声合唱のための組曲 「月光とピエロ」

／堀口 大学 作詩
清水 僕 作曲

月光

秋のピエロ

ピエロ

ピエロの嘆き

月光とピエロとピエレットの唐草模様

／指揮 山本 昇

▶プログラム◀

〈演奏曲目のご案内〉

多田武彦の作品から

大学での専攻は法学、そして銀行に勤務したという作曲家多田武彦に、私達がひかれる一因はそのアマチュア性にあるかもしれません。しかし私達をひきつける大きなものはそんなものではない、彼の美しい日本の自然と人間をうたった、そのすばらしい旋律に、ハーモニーに私達は酔うのです。

「蛙の詩人」草野心平が書いた21篇の詩に作曲された組曲「富士山」から富士と春とをうたった「作品第肆」、船の旅の変化を巧みに描いた丸山薫の「航海詩集」より「我が窓に」「コンバスづくし」、そして又、北原白秋が彼のふるさとをうたった詩集「思い出」の一章「柳河風俗詩」より「梅雨の晴れ間」。いずれも香り高い詩の内容が心ゆくまで表現されています。

作品 第肆

草野心平

川面に春の光はまぶしく溢れ
そよ風が吹けば光たちの鬼ごっこ
葦の葉のささやき
行行子は鳴く
行行子の舌にも春の光

土堤の下のうまごやしの原に
自分の顔は両掌のなかに
ふりそそぐ春の光に
却って物憂く眺めてゐた

少女たちはうまごやしの花を摘んでは
巧みな手ばかりで花環をつくる
それをなはにして縄跳びをする
花環が圓を描くとそのなかに
富士がはひる
その度に富士は近づきとほくに座る

耳には行行子
頬にはひかり

子供の一年

殺伐とした世の中に生きている時、かわいい童謡や唱歌にふれると本当に清々しい気持ちになります。私達が幼い頃から歌い親しんできた懐しいメロディーを集めて「子供の一年」となづけました。しかしこれらのうたは子供をとうして、おとの心の中にも生きている12カ月なのです。

12曲の短い曲を続けて、又いろいろなスタイルで演奏いたします。

オペラより

総合的芸術といわれるオペラの中にあって、コーラスのすばらしさは昨年のスラヴオペラにして更にはっきりと認識されたように思われます。そのコーラスはしばしばドラマをはなれ、いわゆる音楽として我々の耳にふれるようになりました。芸術的に豊富な内容と共に、高度な技術を要

求するオペラ合唱の中から、きょうは壮大な男声合唱をお聞き願いましょう。

先ずウェーバーの代表的作品「魔弾の射手」よりクライマックスの開幕をつげる「狩人の合唱」、そしてワルトブルグの美しい谷間をローマに向う巡礼の一行が奏でる「巡礼の合唱」（ワグナー「タンホイザー」）、最後にグノーの歌劇「ファウスト」より「兵士の合唱」。以上3曲をピアノ伴奏で演奏します。

ここしばらく研究して来た邦人作品をはなれ、初めて本格的にとり組んだオペラを持っての長高合唱班による贊助ステージ、どうぞご声援下さい。

ロシア民謡集

ロシアの歴史の移り変りを静かに眺めながら流れる母なるヴォルガ。限りなく広がる白樺の林。灌木と雑草。そして雪……。この豊かな大自然の息吹きの中から美しいロシア民謡の数々が育くまれました。貧しくもたくましいロシアの民衆の生活や歴史をうたった、たくさんのしらべは、東洋的な感覚をふくんだ北方風な哀愁感と相俟って、日本人の心の中にもロシアのうたに対する愛情をかもし出しているのではないでしょうか。

そんなロシアのうたの中から、きょうはヴォルガの舟引唄をはじめに15～17世紀のロシア民謡からよく親しまれている歌を歌います。

月光とピエロ

ピエロは月の光なり。白く明るくみゆれども……。大正8年永井荷風の序を伴って発刊された堀口大学の詩集「月光とピエロ」は当時多くの共感を呼んだといわれます。

ピエロ／異様な衣装につつまれた内部には深い悩み、こっけいな身振りの裏側には強い孤独感。ピエロの生き方は人間すべての姿／人生の内面を描いたこの詩集に戦後作曲されたものがこの組曲です。日本合唱界の大御所、清水脩のこの作品は現在多くの合唱団で愛唱されており、私達も今回現役・OB合同演奏として発表いたします。その内面的な心がどれほど表現できるかどうぞお聞き下さい。

長野エンゲイ館前

おとめ寿

電 2-3910
2-7988

歌 詩

月光とピエロ

堀口 大学

月 夜

月の光の照る辻に
ピエロさびしく立ちにけり。

ピエロの姿白ければ
月の光に濡れにけり。

あたりしみじみ見まはせど
コロンビースの影もなし。

あまりの事のかなしさに
ピエロは涙ながしけり。

秋のピエロ

泣き笑ひしてわがピエロ
秋ぢゃ／秋ぢゃ／ と歌ふなり。

○の形の口をして
秋ぢゃ／ 秋ぢゃ／ と歌ふなり。

月のやうなる白粉の
顔が涙を流すなり。

身すぎ世すぎの是非もなく
おどけたれどもわがピエロ。

秋はしみじみ身に滲みて
真実なみだを流すなり。

ピエロ

ピエロの白さ／
身のつらさ／

ピエロの顔は
真白け／

白くあかるく
見ゆれども

ピエロの顔は
さびしかり／

ピエロは
月の光なり／

白くあかるく
見ゆれども

月の光は
さびしかり／

ピエロの嘆き

かなしからずや身はピエロ
月の嬌の父無子／

月はみ空に身はここに
身すぎ世すぎの泣き笑ひ／

月光とピエロとピエレットの唐草模様

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット
踊りけり、
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット、
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、
ピエロ、ピエレット。
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、
歌いけり、
ピエロ、ピエレット
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて。

プロファイル／長野高校合唱班

40年来といわれる伝統は確かではありません。とにかく弁論部などと共に音楽部としてその第一歩を踏み出した事ははっきりしているようです。その後合唱同好会を経て合唱班としてのクラブに成長したわけですが、古い伝統といわれるものは余り感じられず、多少クラシックな面を持ちながらも、やはり現代感覚豊かな者の集りです。底慣れぬにぎやかさとファイトを身上にしながら、特意な曲目は日本の歌、一連の多田ブシのあと一昨年、昨年と清水脩の作品にとり組んできました。班の向上に努めてきた先輩のあとをついで、年々進歩のあとを見せた長高合唱班も現在では2・3年生で班員45名、新たに新入生を加え、念願の70名をめざしています。男声合唱の少ない高校合唱界にあって、たくましい合唱性を保持しつつ、県の、いや日本の長野高校合唱班を夢みて、きょうも練習にはげんでいます。

山本先生(合同演奏指揮者)と私達

先生は私達にとっては高校時代の恩師であると同時に大先輩にあたり、レッキとしたカイトの仲間である訳ですが、目下のところ高校時代と同様やはり顧問としてお忙がりしています。大先輩といつても私達の兄貴的存在。厳しいという入班当時の印象を強く受けながらも、先生の人間味にひかれつつ卒業後も度々お宅へおじゃましてはご迷惑をかけてしまいます。現在教育者と音楽家の両方の立場から忙しい生活をおくっていられる中で、きょうの合同演奏の指揮も快く引き受けてくださる——そんな先生のところへ今晚も一本さげておじゃまするか、という話が持ちあがるのであります。たいしてアルコールに強くない先生がかわいそうです。

よい家具のある生活

それは ほんとうに

しあわせな生活です

美しい暮らしのセンター

長野・緑町 TEL(2)3467(3)0425

家具の店 滝澤

滝沢木工株式会社

TEL(3)0131~0133

カイトとその仲間達

古い伝統を持つという長野高校合唱班を卒業(?)し、現在北は仙台、南は和歌山と離ればなれになってしまった、かつての仲間が昨年ガッチャリまとまり、そこにカイト(歌うとんび達)という会が生まれました。その会員数約60名、社会に出確固たる自分の方向を築いている者、各地の大学に学ぶ者、そしていわゆる浪人……。これらの会員が集まるのは年に数度。しかしそれでもひとつのところに学び、ひとつのものを追求してきた私達はきょうも通じあう心で歌うつもりです。

ふるさとの皆さん、こんな高校OBの合唱きちがいのため、今後ともよろしくご支援下さい。

最後にこのカイトを構成するメンバーを紹介させていただきます。

山本 昇(顧問)	茂木 晃(T II)	丸山 正一(B I)
	(37年度卒)	丸山 秀夫(B I)
	上野 直樹(T II)	三島 翔(B II)
飯田 弘己(B I)	小嵐 正治(B I)	宮下 助俊(T I)
今井 勝男(B I)	田中 正(T I)	柳沢 俊彦(B II)
今井 伸一(B II)	塚田 智彦(B II)	渡辺 裕夫(B I)
大沢 彰(T I)	堀内 征治(T II)	(39年度卒)
鹿熊 厚(T I)	宮本 俊介(T I)	有田 耕平(B I)
小嵐 正昭(T I)	和田 忠久(B I)	金丸 文雄(T I)
清水 英一(B I)	(38年度卒)	鎌田 道雄(T II)
霜鳥 十三男(B II)	飯田 治夫(B I)	公文 道夫(B II)
十代田 建一(T I)	伊賀 賢司(B I)	倉科 正紀(B I)
(36年度卒)	市村 信幸(T II)	佐藤 安雄(B I)
遠藤 好俊(B I)	加藤 光男(B I)	武井 忠久(B I)
大西 修(B I)	北山 一男(T I)	田野口 重明(B I)
岡田 成文(B II)	近藤 清(T II)	中沢 純一(T II)
片桐 茂彦(T II)	田幸 新造(T I)	浜田 列(T I)
須田 勝弘(T II)	田中 武司(B II)	松橋 文幸(T I)
丹下 泰夫(B II)	田中 不二夫(B II)	日詰 一彦(T II)
中島 武(B II)	夏目 雄平(B II)	真鍋 盛二(T I)
中村 厳(B II)	福島 貴和(T II)	宮川 裕(B II)
深沢 輝雄(T II)	福島 稔(B II)	吉村 恒 倭(T II)
松永 茂一(B II)	松沢 弥栄(T II)	(40年度卒)

登
録

のり太巻
のり寿司
いなり寿司
五目にぎり
玉子巻

弁当

電話 3-0628

正しいメガネで 成績トップ!

◇東洋コンタクトレンズ代理店◇

メガネのいとう

長野市南石堂町 TEL (2) 2284・8328

厚生大臣賞受賞

東洋に設備を誇る工場から毎日皆様にお届けする

サンキヨー牛乳

新発売 ビタエース(高脂肪、ビタミン強化牛乳)

姉妹品 コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ヨーグルト

ミネグルトン

三協乳业株式会社

長野市南石堂町 1262 TEL (2) 6947・6948

いつも正確な時計をあなたはお持ちですか



(セイコー専門店) 10回払の方法もございます……

タツノ時計店

長野市東後町 TEL (2) 4006